

元気いっぱい! 夢いっぱい! 菊池っ子だより

vol.138

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

問学校教育課 ☎0968(25)7231

菊池南中学校 11月28日 災害時、自分たちにできること



②地域活動委員会は制作した「南中カルタ」で交流 ④給食委員会はヘルスマイトの皆さんとの協力の下、料理を振る舞いました

「災害時、私たちに何ができるか」をテーマに、地域の皆さんや講師を招いて、防災学習を行いました。避難所となった本校を想定し、委員会ごとにカルタや読み聞かせで交流し、救急救命や寝袋作りなども一緒に体験。災害時のことを考え、地域のために行動する南中の目は、未来を見据え輝いていました。

菊池北中学校 12月5日 笑顔いっぱい! ジャガイモの初収穫



⑤水やりをしながら育つのを見守りました。「大きくなれ!」
⑥調理して、みんなで試食
育てる・収穫する・食べるという一連の体験を通して、食の大切さや達成感を味わうことができた貴重な時間となりました

特別支援学級のみんなで育てたジャガイモが収穫の日を迎えるました。水やりや草取りなど、丁寧な世話を積み重ねた甲斐あって、たくさんのジャガイモが実りました。収穫後はスライスしてポテトチップに調理。自分たちの手で育てた野菜を味わう喜びは格別で「おいしい~!」と笑顔が広がりました。

花房小学校 11月16日 学びの成果を発表! 花房フェスタ



⑤平和への思いを伝えた5・6年生 ⑥3~6年生は伝統の「出田の獅子舞」も披露。全校児童が輝いた一日となりました

本校では学習成果を発表する花房フェスタを開催しています。低学年は地域探検、中学年は環境学習、高学年は修学旅行で学んだ平和学習を中心に発表。どの学年も劇や歌、演奏を交えた素晴らしい内容でした。また、児童が収穫したコメも販売。地域の皆さんや保護者など、多くの人が訪れました。

泗水小学校 12月18日 収穫した稻で、しめ縄作りに挑戦!



⑤稻を刈り取った後、干して乾燥 ⑥児童からは「しめ縄を作るのは難しかったけど、とても楽しかった」といった声が聞かれました

3年生が稻田壽昭さん(富出分)の指導の下、近くの田んぼで育ててきたコメが実り、稻刈りをしました。収穫した稻を乾かし、しめ縄作りにも挑戦。2人組で力を合わせて、わらをねじったり束ねたりしました。稻田さんに教わりながら、食べ物の大切さや伝統文化に親しむ貴重な学びとなりました。

七城小学校 12月20日 児童が企画! ウィンターフェスティバル



⑤企画委員会のオリエンテーションでスタート ⑥給食委員会の「箸で豆つかみ競争」。滑りにくい箸を使う工夫がしてありました

企画委員会主催でウィンターフェスティバルを開催しました。9つある委員会が仕事の特色を生かしたブースを作り、みんなで楽しもうという企画です。全学年の縦割り班でブースを回るため、上級生が下級生に優しく声を掛けたり、5・6年生不在の時間は4年生がまとめたりと、仲良く楽しんでいました。

市内3高校の魅力を伝えます!

高校魅力化全力通信

vol.95

【問い合わせ先】
菊池女子高校
☎0968(25)3032



ふるさと創生市民広場で開催しました。恒例のファッショントリオやヘアメイクはもちろん振り袖着付け、3年生による創作ダンスなど、これまでの学びを披露しました。他にも、卒業生でシンガーソングライターとして活躍するR-I-K-A-C○さんの生歌や菊池さくら保育園の園児によるカラーガード、ひかり保育園の園児と一緒に踊る「きくち女子舞」、大津太鼓の迫力ある演奏など、短い時間ながらも内容の濃い、見応えのあるステージとなりました。

●バザー部門(11月15日)
生徒たちが主体となって企画・準備を進めました。写真スポットや射的、夏祭りコーナー、幽霊喫茶など、どうしたら来場者に楽しんでもらえるか」を考え、工夫を凝らしたブースを開設。会場は終始にぎやかな雰囲気に包まれました。

食バザーは市内飲食店の協力もいただき、生徒や保護者会の出店とともに大好評でした。恒例となりつつあるコスプレイヤーの姿も多く、コスプレイヤーを自当てに訪れる来場者も見られ、会場をより一層華やかに彩ってくれました。



第二さくら幼稚園とひかり保育園の園児を招いて、保育まつりを開催しました。テーマは「ちょっと早めのお正月遊びをやっちゃおう」。生徒も正月遊びに触れる機会が少なくなっているため、子ども文化の伝承と学習を兼ね、園児と一緒に触れ合う楽しさを体験することが目的です。

当日は、十二支の歌を使ったペークサートやけん玉、かるたなど、生徒が準備した遊びが並びました。元気いっぱいに活動する園児の姿に、生徒たちは保育士になりたいという夢をさらに大きくしました。

市が熊本大学と連携して、令和4年度から実施している「きくち未来創造塾」。今年度からはその学びを高校にも広げる「高大連携事業」が始動し、本校では11月に熊本大学の

地域の未来と自分の将来を考える(関連19ページ)



園児と一緒にあやとりに挑戦

毎年10月3日に、追悼会を行っています。亡くなられた卒業生や職員、学校関係者の方々を偲び、命の尊さと今をどう生きるかを考える一日です。本行事は大正14年、本校の母体となつた隈府女子専門学校の創立者・荒木民次郎氏の祥月命日に、教え子たちが自然に集まり、感謝と祈りを捧げたことから始まりました。これまで途切れることなく受け継がれて、来年度で100回目を迎えます。

当時は物故者の名前を掲示し、静かな時間を共有します。白白のまんじゅうを配る初代理事長からの伝統も優しさとつながりを感じる風景です。たくさんのお花と一緒に包まれた時間となりました。



教授、12月に塾の修了生による講義とワークショップを実施。企業と地域が連携して行う地方創生の取り組みについて学びました。

遊び・学び・つながる保育まつり(12月23日)

地域や協力者、保護者の皆さんのが支えの下、生徒一人一人が役割を果たし、地域とともにつくり上げた心温まる一日となりました。

生徒にとって、地域の未来と自分の将来を結び付けて考えるきっかけとなり、「社会と自分のつながり」を見つめ直す貴重な学びとなりました。

心を結ぶ 本校だけの心の日